

潤子先生、 出番ですよ！

中島 潤子



長野県松本市(旧四賀村)生まれ。1987年(昭和62年)松本歯科大学卒業。6年半口腔外科学講座に勤務。その後8年間陸上自衛隊松本駐屯地に歯科医官として勤務。3等陸佐。2003年(平成15年)四賀村になかじま歯科医院を開設。歯学博士、ケアマネージャー。日本法歯学医学会 評議員。マサチューセッツ州立大学卒業。MBA取得。

Junko Nakajima

長野県松本市から車で40分。
マッコウクジラの化石と松茸山に
見守られた高齢化の進む山間の地で、
患者さんと心が通じ合う
「真実の瞬間」を日々追い求める潤子先生。
元自衛隊歯科医官がお届けする
真実の奮闘記です！

～真実の瞬間を求めて～
Vol. 38

「先生、これは魔法のテープですね！」

「今年」は花粉症が出なかったので薬を飲まなくてもすみました！
「症状がなかったので花粉症のことを忘れていました」

これは耳鼻科ではなく、うちの診療室での患者さんの言葉です。私は福岡のみらいクリニック、今井一彰先生から「口呼吸の有害性について学び、患者さんに「口呼吸を鼻呼吸に改善するための指導」をさせていただいています。口呼吸から鼻呼吸になると、歯周病や口腔乾燥だけでなく、アトピー、いびき、無呼吸症候群、リウマチなど、さまざまな症状が改善しますが、花粉症もその一つなのです。患者さんには「あいうべ体操、口テープ、舌の位置」をご説明し、口テープ用のサージカルテープを購入していただいています。うちは田舎で開業しているので近くにドラッグストアがないからです。口テープを続けていただくと花粉症の症状がなくなるので、患者さんからは「先生、これは魔法のテープですね」ととても感謝されています。

今年4月、日本中がマスク不足だった時にMBA大学院の友人から「今年はうちの旦那さんの花粉症が治ったので

マスクがたくさん残っているの。潤子さんのお仕事はマスクが必要だと思うので送ろうと思っている」と連絡が来ました。このご主人も、口テープで花粉症が出なくなったのです。

物心ついた時から花粉症があった60代の男性は、今年は生まれて初めて花粉症のない春を過ごしたそうです。この方は花粉症の改善のほかにも40年来の蓄膿症が治り、両方の鼻から呼吸ができるようになりました。さらに20年前からあった手足の荒れが良くなり、5年前からなかなか治らなかった額の湿疹も治ったそうです。

いびきの改善のために口テープをお勧めした患者さんは、春と秋にひどい花粉症がありましたが、いびきの改善だけでなく花粉症も出なくなったと感謝されました。

花粉症と肌荒れのあった女性は、皮膚科で「花粉が皮膚につくので症状が出る」と説明されていましたが、口テープで花粉症が出なくなると皮膚も荒れなくなったそうです。

「口呼吸を鼻呼吸にすると花粉症が改善しますよ」とご説明しても、なかなか口テープをなさらない方もいらっしゃいます。「テープなんかで花粉症が改善するはずがない、面倒くさい、もし言う通りにやってみて治らなかつたら嫌だ」などの本音があるのでしょうか、私は諦めずに繰り返し口テープについて

お話しています。半年以上お勧めしても、なかなかテープをお使いにならなかった男性がいましたが、実際にやってみて花粉症といびきが劇的に改善したため、今ではほかの方にも口テープをお勧めしているそうです。

「家族や友達に」と数本まとめてテープを購入される患者さんもいらっしゃいます。ある女性の患者さんは「うちのお嫁さんも花粉症だから」とテープを購入され、その後「お嫁さんの花粉症が治ってとても喜ばれたの」と言う素敵なお話も聞くことができました。

歯科医院からのアプローチで、今まで諦めていた花粉症やいびき、無呼吸症候群などが改善すると、患者さんからは絶大な信頼を得ることができます。口テープは花粉症だけでなく風邪やインフルエンザの予防にも効果がありますので、これからの季節、患者さんに「あいうべ体操、口テープ、舌の位置」をお勧めしてみたいはいかがでしょうか？

具体的な指導方法などについてご質問がございましたら、下記のアドレスまでどうぞご連絡ください。

naka.aloha.dc@gmail.com

